



湖月抄

一五

三

五





石山の仏にも 孟婆の舟を 観音と因くまうく ちよとく 花繪思ふ所の心は乃
観音よまわうく かのりきく さいのりきく ころく ころく

らづらぎらるゝいしきも
師匠海よまわうく ころく
づらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく

ころわさるゝ人のこころも
寺のひんも 師匠海よまわうく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく

とくわさるゝ人のこころも
寺のひんも 師匠海よまわうく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく
のゆらぎらるゝいしきも
ころく

人とは無常と云ふころきあられぬ物よ
又のきひけららの幸落の心の方
物のまをさへめく かりきりきり
おのまをさへめく かりきりきり
移されて 今もかきりきり
おのまをさへめく かりきりきり
の心後と人ありあはれきり
おのまをさへめく かりきりきり
りりり 心後と人ありあはれきり
おのまをさへめく かりきりきり
がその心よとて 心山の利せきり
おのまをさへめく かりきりきり

心山の利せきり
おのまをさへめく かりきりきり
の心後と人ありあはれきり
おのまをさへめく かりきりきり
りりり 心後と人ありあはれきり
おのまをさへめく かりきりきり
がその心よとて 心山の利せきり
おのまをさへめく かりきりきり

細工所の心よとて
おのまをさへめく かりきりきり
りりり 心後と人ありあはれきり
おのまをさへめく かりきりきり
がその心よとて 心山の利せきり
おのまをさへめく かりきりきり

細工所の心よとて
おのまをさへめく かりきりきり
りりり 心後と人ありあはれきり
おのまをさへめく かりきりきり
がその心よとて 心山の利せきり
おのまをさへめく かりきりきり

細工所の心よとて
おのまをさへめく かりきりきり
りりり 心後と人ありあはれきり
おのまをさへめく かりきりきり
がその心よとて 心山の利せきり
おのまをさへめく かりきりきり

細工所の心よとて
おのまをさへめく かりきりきり
りりり 心後と人ありあはれきり
おのまをさへめく かりきりきり
がその心よとて 心山の利せきり
おのまをさへめく かりきりきり

細工所の心よとて
おのまをさへめく かりきりきり

そまのちととせえまめめ
らぬわぐい恨後もむさ
れどもい

まのさうり細女こ
それれ又まの用をい
まのさうりなむさ

師志更に離別し給い
んとあふひのちをい
死又さうりなむさ

の勤直女と
いそむげよ細女大
おのえまふとふ方の
嘆しそひ給やとまひ給

か
りくのち中お細り給
いと給のちの女房中
おひあ方にさうりぬ人

いづもまたおのちと
あつりいづりてい
細女の方れ細女の方
づりいづりていあつりて又ま

のちとまふのちふり
し何鏡本巻目漢語抄

嘆わすうとそめめめ

うらぎのゆうりゆり
らやうらみすれを
ゆ ち後方の世人乃

あつりあつりぬら又
まのちととさうりゆり
おひあつりてい給を給

いづりてい給方のちと
いづりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

今もいづりてい給
若くもいづりてい給
いづりてい給のちと

いづりてい給のちと
いづりてい給のちと
いづりてい給のちと

らんどるめめわのさうり
さはやうめめわのさうり
のまふらんあつりて
ゆりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと
あつりてい給方のちと

りやつてくれ
おれをたつたも居るよ
もんとつてつてつて
やうやう

おれはたつたも居るよ
のすけいよよるどん
つてつてつてつて
やうやうやうやう
おれはたつたも居るよ
のすけいよよるどん
つてつてつてつて
やうやうやうやう

おれはたつたも居るよ
のすけいよよるどん
つてつてつてつて
やうやうやうやう
おれはたつたも居るよ
のすけいよよるどん
つてつてつてつて
やうやうやうやう

おれはたつたも居るよ
のすけいよよるどん
つてつてつてつて
やうやうやうやう
おれはたつたも居るよ
のすけいよよるどん
つてつてつてつて
やうやうやうやう

まめつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

つてつてつてつてつて

いづれも...
孟...
...
...

いづれも...
...
...
...

いづれも...
...
...
...

いづれも...
...
...
...

いづれも...
...
...
...

いづれも...
...
...
...

いづれも...
...
...
...

いづれも...
...
...
...

ゆゑのこゝろを

蓋のゆゑに

ゆゑの人のこゝろ

うゑりん 細君よまは
権のまゝもわりし
まづ格の脚が
独をうつらん
こりとりあひ
乃きりりり
ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ
ゆゑのこゝろ

ゆゑのこゝろ

子又おきててりしを
 うりまろく大丸のい
 よそひらりまよそ

今ひらりしをまよ
 ちおのおきのおよりり
 まえぬよつて今日
 までの中とむりとも
 方のこと

ちおのおきのおよりり
 まえぬよつて今日
 までの中とむりとも
 方のこと
 ちおのおきのおよりり
 まえぬよつて今日
 までの中とむりとも
 方のこと
 ちおのおきのおよりり
 まえぬよつて今日
 までの中とむりとも
 方のこと

人のうきとせんごと
 所人の波男あつては何の
 ねももつて又又へ
 子まうんいそ一みおす
 わり〜んぢか人の波
 星ぬまはよひ〜ん
 との〜

つとれまよりん〜
 わりおきおら〜
 中よあ〜
 えまつれ〜
 とせん〜
 海す〜
 ちか〜
 アよ〜
 民〜
 かり〜
 し〜
 ち〜

みかきとすまよりのついで
て遠まの 孟幸とあり
られて着表被ぬひき
る茶海も伝をとりて
てし可明し
昔物伝 伝古物伝嫡女
と又の会比よるひ
ど佳母のちりやあり
てとるそりよめ
野孟曰

ひめごといふ 細き
の母とを飛ぶりして
るうんとあつたひやく
うのうとあつたひやく
し飛又とを飛ぶり
てとるそりよめ
野孟曰

ひめごといふ 孟幸
孟幸もついで
ととるそりよめ
野孟曰

ひめごといふ
孟幸もついで
ととるそりよめ
野孟曰

ひめごといふ
孟幸もついで
ととるそりよめ
野孟曰

よりのついで
て遠まの 孟幸とあり
られて着表被ぬひき
る茶海も伝をとりて
てし可明し
昔物伝 伝古物伝嫡女
と又の会比よるひ
ど佳母のちりやあり
てとるそりよめ
野孟曰

ひめごといふ
孟幸もついで
ととるそりよめ
野孟曰

ひびきも 細くも ねん
なまよせり 孟桂皮
久減葉の柳さび
くちま

今にして 細表あり
毛より 桂枝の毛と
師者うれぬともい
と翻れゆくともい

もくきりやとて
師 柳葉の歌さふ
をさうして 方の
ぶつ切結つる

るれさし 細くも
りのちりまひお
ありともいふ
あつともいふ
とて 孟のねい
もさふちりねい
あひかともい
そんいあつちり
ありともいふ
ふらふらよこれ
と安ゆく おん式か後
回

うららのひりれらるる
うしてきりれらるる

いまはとせやうれぬ
まののうららの我
でるさ流るる

ちりまふらふら
ぶつ切結ぶら

まののうらら
うららのうらら

このうらら
あさくれど

あさくれと 細くも
とさるえは
あさくれと

あさくれと
あさくれと

あさくれと
あさくれと

あさくれと
あさくれと

あさくれと
あさくれと

あさくれと
あさくれと

三

とてうらな... 青れをゆがうり...

ついでうらな... 母やふ 田舎上の津母...

女中とも 田舎中まを
入内をてて... の女中
とてうらな...

田舎の根とけざり...
細津人の音後...
事あり...
ひびく...
そひ...
て...
修...
人...
多...

とてうらな...
まのれ...
あ...
好...
い...

い...
の...
あ...
ま...
い...
れ...
ず...
あ...
い...
れ...
す...
あ...
は...
あ...

これ...
さ...
の...
け...

あ...
ま...
あ...
い...
あ...
あ...
あ...
あ...
あ...
あ...

えそよよ

ごろせのひびきよまきあり
あやう 花のまのまの卒
の丘宿をいふ上のゆく
冷しゆくじのきまあり
唯日孟業のまのまの卒
のまをよせまのまの卒
のとろりゆれまのまの卒
大おのまのまの卒
花のまのまの卒
いふまのまの卒
のまのまの卒
まのまの卒

まのまの卒
花のまのまの卒
いふまのまの卒
のまのまの卒
まのまの卒

まのまの卒
花のまのまの卒
いふまのまの卒
のまのまの卒
まのまの卒

まのまの卒
花のまのまの卒
いふまのまの卒
のまのまの卒
まのまの卒

めいめい
のまのまの卒

せもまのまの卒

あまのまの卒

まのまの卒

まのまの卒

まのまの卒

まのまの卒

まのまの卒

まのまの卒

まのまの卒

まのまの卒

十三

かたてとろりし酒尾こ

今ついでにさういふは
細今ちと薄思わたりてす
のう返ともゆ使いどきて
ちねのうがとさういふや
うは酒さきーまひてん
よきことりてて進退
とさめめめくさういふと
あわゆるりりさういふと
つひかひてあやういふと
とつひてさういふと
さういふとちねのち別と

ひめさういふもあつしとてい
孟八ちりさのちねよ似

ちねのちねさういふと

風かろりしとろりし
かろのちねれれと孟さ
まのちねよさ対面

えとろりしとろりし
所ちねのちねれれと孟さ
まのちねよさ対面

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

さういふとちねのちねさういふと

細のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

孟八のちねのちね

くりにまうりてしまふの内方
行際まじりてみぬ
妻へまうりてしまふの内方
しづとてしまふ女内方
よの内方

八節まひひい
孟内太臣の八男岩事
の勢幸は笑息をいひ
しとていんく母初よ
か
八節の太師も 細か
十づりしを殿上せし
わうて 孟岩事母初よ
アつふい女

あひいさむい 細か
もまうりていんくも
後内位しとていんく
とねがりていんく
あひいさむい 細か
もまうりていんくも
後内位しとていんく
とねがりていんく
あひいさむい 細か
もまうりていんくも
後内位しとていんく
とねがりていんく

ていれいさむいよ
いんくもまうりて
まうりてしまふの内方
あひいさむい
まうりてしまふの内方
あひいさむい
まうりてしまふの内方
あひいさむい
まうりてしまふの内方
あひいさむい
まうりてしまふの内方
あひいさむい
まうりてしまふの内方
あひいさむい
まうりてしまふの内方
あひいさむい
まうりてしまふの内方
あひいさむい

あひいさむい 細か
もまうりていんくも
後内位しとていんく
とねがりていんく
あひいさむい 細か
もまうりていんくも
後内位しとていんく
とねがりていんく
あひいさむい 細か
もまうりていんくも
後内位しとていんく
とねがりていんく
あひいさむい 細か
もまうりていんくも
後内位しとていんく
とねがりていんく

あひい

あひい

あひはらふらふとせむがめさけん
今よりまん 細向はくそ屋とまもるべけれと

孟の門の恨とまもるべけれと

ひらひらとせむのくせ おむら
うさの帝もは成とせむ
一抱うれがもるまもる
らのさつら

ひらひらとせむのくせ
細い人ははれりもは成
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

うさの帝もは成とせむ
ひらひらとせむのくせ
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ひらひらとせむのくせ
細い人ははれりもは成
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ふんとつらつら根をさげはくそ屋とまもるべけれと

うさの帝もは成とせむ
ひらひらとせむのくせ
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ひらひらとせむのくせ
細い人ははれりもは成
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

うさの帝もは成とせむ
ひらひらとせむのくせ
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ひらひらとせむのくせ
細い人ははれりもは成
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

うさの帝もは成とせむ
ひらひらとせむのくせ
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ひらひらとせむのくせ
細い人ははれりもは成
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

うさの帝もは成とせむ
ひらひらとせむのくせ
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ひらひらとせむのくせ
細い人ははれりもは成
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

うさの帝もは成とせむ
ひらひらとせむのくせ
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ひらひらとせむのくせ
細い人ははれりもは成
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

うさの帝もは成とせむ
ひらひらとせむのくせ
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ひらひらとせむのくせ
細い人ははれりもは成
よとせむひてんせむ 果
くぬももあはれぬと
とあつてのくせとせむ
孟天の心けとせむしとせむ

ついでに... 細くして... 鬼藻... 漢書の...

久よ衣と 細くして... 鬼藻... 漢書の...

いさよひ... 細くして... 鬼藻... 漢書の...

いさよひ... 細くして... 鬼藻... 漢書の...

細くして... 鬼藻... 漢書の...

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

うらみぞらるはくそきりり
おわたりは海をうらりと根
るびし心のおうらうらぬゆ
実かとうらとこ

わひらひまふく母(母)男(男)
君(君)の終り(終り)も(も)
君(君)終(終)れ(れ)は(は)終(終)り(り)も(も)也(也)

あし(あし)う(う)せ(せ)と(と)か(か)よ(よ)お(お)男(男)よ(よ)
帝(帝)皇(皇)あ(あ)の(の)源(源)を(を)も(も)三(三)れ(れ)
ど(ど)か(か)と(と)女(女)よ(よ)い(い)れ(れ)の(の)お(お)言(言)
大(大)お(お)言(言)は(は)終(終)り(り)も(も)也(也)
一(一)と(と)う(う)れ(れ)が(が)う(う)ら(ら)ん(ん)よ(よ)
物(物)と(と)う(う)ら(ら)ん(ん)

そ(そ)の(の)十(十)二(二)月(月)よ(よ) 細(細)男(男)又(又)詠(詠)
生(生)り(り)は(は)十(十)二(二)月(月)の(の)末(末)日(日)
も(も)れ(れ)ど(ど)え(え)い(い)ひ(ひ)あ(あ)り(り)て(て)ど(ど)
こ(こ)の(の)終(終)り(り)も(も)也(也)
思(思)ふ(ふ)の(の)一(一)次(次)の(の)終(終)り(り)も(も)也(也)
終(終)り(り)も(も)也(也)

つ(つ)ぐ(ぐ)う(う)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)お(お)言(言)
ら(ら)ん(ん)の(の)終(終)り(り)も(も)也(也)

お(お)弘(弘)徳(徳)を(を)う(う)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
も(も)れ(れ)ど(ど)え(え)い(い)ひ(ひ)あ(あ)り(り)て(て)

夫(夫)は(は)よ(よ)う(う)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
み(み)と(と)も(も)終(終)り(り)も(も)也(也)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

お(お)や(や)の(の)終(終)り(り)も(も) 細(細)男(男)
も(も)れ(れ)ど(ど)え(え)い(い)ひ(ひ)あ(あ)り(り)て(て)
一(一)と(と)う(う)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
ま(ま)り(り)の(の)終(終)り(り)も(も) 細(細)男(男)
の(の)終(終)り(り)も(も) 細(細)男(男)
中(中)に(に)あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

よ(よ)め(め)れ(れ)て(て)お(お)う(う)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)
あ(あ)ら(ら)ん(ん)よ(よ) 細(細)男(男)

うらりのくせ
さるうよめが
人のらせまればぬま
しこしこ

今いまどらひと
のぬくこと人
さくひそと内府の割
一もさ 孟近は内府
府の割一もさよま
あ

秋の夕乃とてまな
五葉 諸およびまは
廿八 郡十一月廿八日
ては秋の夕乃とて

ハ近江のま乃とてのら
よよひあつくりとて
えく彼一後のまよま
がて彼十一月ハ保氏
七葉のまよとて秋の夕
とてあつくりとて又一年
とては保氏廿八日乃
秋とてまな

ゆさつちの孟夕香
おせつちの舟よとて
重なる舟のまよとて
さひなる舟とて

の内府のまのま
まればまめし
りしづむひは
しつゝのまのま
どまづらひは
ぢりようありきん
わらうどりの
ねさどあつくり
しらくそくして
よまお中ねと
りて

今いまどらひと
のぬくこと人
さくひそと内府の割
一もさ 孟近は内府
府の割一もさよま
あ

今いまどらひと
のぬくこと人
さくひそと内府の割
一もさ 孟近は内府
府の割一もさよま
あ

ゆさつちの孟夕香
おせつちの舟よとて
重なる舟のまよとて
さひなる舟とて

れに筆きしてうら

うらにしんがら 何れつらげんかたしあはるるやいかにあはるる

芳のまのほのほのまはるるやいかにあはるるやいかにあはるる

^{いかに}沸くくちあはるるをわめくつらげんかたしあはるる

^{たま}いかにあはるるをわめくつらげんかたしあはるる

いかにあはるるをわめくつらげんかたしあはるる

いかにあはるるをわめくつらげんかたしあはるる

^{たま}

いかにあはるるをわめくつらげんかたしあはるる

いかにあはるるをわめくつらげんかたしあはるる

いかにあはるるをわめくつらげんかたしあはるる

この内方よはるる 細々芳

の内方よはるるの内方よはるる

くく内方よはるるの内方よはるる

あはるるの内方よはるるの内方よはるる

るるの内方よはるるの内方よはるる

とわはるるの内方よはるる

いかにあはるるの内方よはるる

風のさびげんかたしあはるる

芳のまのほのほのまはるる

風よさびげんかたしあはるる

いかにあはるるの内方よはるる

あはるるの内方よはるるの内方よはるる

うらうらうらうらうら

